ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA

MISSION
81
2017.2

PHOTO: Shunya Arai (YARD)
STYLING: Itsumi Takashina
HAIR: KANADA (lake tajo)

今回は「日本人には、日本人の顔立ちに似合うメイクがある」とのUDAさんの持論がよくわかる一例を。素顔が引き立つ仕上がりです。

中に着たタートルニット ¥28,000(ジョン スメドレー | リーミルズ エージェンシー)/シャツ ¥39,000(マリ マロ)、スカート ¥38,000(アナログ ライティング | 共にディアトリクス)/ピアス ¥24,000(リー・ヘイル | ソウス)

今月のミューズが生まれるまで

中松咲乃さん
モデル志望
2016. 12. 11 at Shirokanedai
Photo: UDA

刈り上げのショートボブにシックな色使いのメイクで撮影現場に現れた中松さん。「ロカビリーテイストのはっきりした好みをもっていて、ヘアメイクでクリアに表現できている人。強い打ち出し方にも個性を感じました。セルフメイクは、どちらかというとなりたい要素をプラスして、違った自分をつくる方向。だから今回はあえて、素の自分を生かす方向にトライしてみました」(UDAさん)

中松さんの端正な目鼻立ちを生かし、日本人のもっている〝静けさ〟という強さを突き詰めながらメイクを組み立てていく。

「最初に選んだのは、柿色のアイカラー。丸みをつけずに四角く広げることで、甘さを排除し、スッとした目元を際立たせます。全体的には浜くなりすぎないよう、眉に赤みを足して今どきの雰囲気を入れたり、羊羹のような色合いの口紅で色気も感じさせたり。普段の彼女からかけ離れすぎず、気持ちにフィットさせるための工夫も施しています」(UDAさん)

セルフメイクはすべてオフ。ベースはまず、ポイント的な肌の赤みをコンシーラーでカバー。全体は、フェイスパウダーで薄く透明感のある質感に整え、自然な血色をプラスする。柿色のアイカラー(4)は、上瞼の目の際から塗り始め、眉側へ向かって幅広になる台形に塗る。目の際には赤み寄りのブラウンペンシルでラインを引き、くっきりさせすぎない程度にフレームを強める。睫毛には黒のマスカラ。カールせず、睫毛をあえて下げながら塗る。アイブロウは、グレーのパウダーとペンシルでベースを描き、全体的に赤茶(3)のパウダーをまぶす。リップメイクは、ほのかなツヤの(1)、ネイルは薄墨のような色づきの(2)をセレクト。

UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティ、女優やアーティストを担当するほか、舞台のメイクプランニングも手がける。本企画ではモデルハントからディレクションまで全体を統括。踏密な理論に基づく技は日々進化中。

4

3

2

1

1: シアーでつややかな色づきの黒口紅。ルージュ ココ シャイン #128 ¥3,900(シャネル)
2: クリアな黒。重ね使いで深みをプラス。ル トップ コート タンテ ¥3,200＊限定発売中(シャネル)
3: 繊細な質感のパウダーカラー。赤みを帯びたパール入り。シマリングカラーヴェール ステートメント #13 ¥3,500(THREE)
4: マットな質感。ザ アイシャドウ #クラウン インペリアル ¥2,000＊限定発売中(アディクション ビューティ)

美人化モデル募集中 ページに登場してくれるモデルさんを募集しています! お名前・住所・電話番号・年齢・職業・一言メッセージと、すっぴん&お気に入りの服を着たスナップ(上半身)各1枚をメールでお送りください。ginza.bijinka@gmail.com